



せんい技術情報

群馬県立群馬産業技術センター
繊維工業試験場

〒376-0011 群馬県桐生市相生町 5-46-1
TEL 0277-52-9950 FAX 0277-52-3890

より詳しい内容を御希望の方は、当試験場の各担当者までお問い合わせ下さい。

■ 最近の研究紹介 ■■■■■■■■

【グラフト加工により風合いを改良したシルク製品の開発】

絹は、独特の美しい外観・風合いを有する天然繊維素材です。しかしながら、その製品用途により、そのままでは柔らか過ぎることがあるため、適度な硬さを付与して風合いを改良する加工技術の開発が期待されています。そこで、本研究では繊維に高分子を結合させるグラフト加工技術を用いる方法に着目し、絹の風合い改良に応用可能かどうか検討を行いました。

グラフト加工は以前から絹の加工に用いられてきましたが、主な目的は絹の特長をできる限り失わず、糸にボリューム感を持たせて増量効果を得ることです。グラフトモノマーにメタクリルアミドを用いると、絹本来の性質が損なわれにくいため、今回もこの方法を用いました。

グラフト率を高めると加工後の絹の剛性が増大し、風合いが硬く変化します。そのような加工条件は、グラフト加工本来の目的ではありませんが、本研究は絹の剛性を高めて硬い風合いを付与させることが目的であるため、その効果を積極的に利用する加工技術の開発を試みました。加工した絹糸の性状を調べることで、加工条件と風合いとの関係について一定の知見を得ることができました。その結果に基づいて製品の試作を行い、適度な硬さの風合いを持ったタッチセル及びからみ織ストールを開発することができました。

※本内容は令和4年度公募型共同研究による成果の一部です。

(素材試験係 齋藤(裕))

■ 講演会のご案内(予告) ■■■■■■■■

【繊維産業の海外展開に向けたブランディングの強化】

繊維産業における海外展開とプロモーション支援をテーマにした講演会を開催します。繊維工業試験場からは、繊維製品の3Dモデル構築などの取り組みについて報告します。

□ 日時 9/24(火) 13:30~15:30

○ 講演1 13:30~15:00

- ・ 講師 高崎経済大学 黒川基裕 教授
- ・ 演題 「繊維産業の海外展開に向けたブランディングの強化」

○ 講演2 15:00~15:30

- ・ 講師 繊維工業試験場 企画連携係職員
- ・ 演題 「繊維産業におけるDX支援の提案」

□ 募集 8月下旬から受け付けます。

(企画連携係 田島)

■ 産地概況 ■■■■■■■■

【令和5年桐生繊維業界の実態】

桐生市繊維振興協会から、協会加盟10団体対象の令和5年1月~12月までの桐生産地概況をまとめた「桐生繊維業界の実態」が発行されました。これによりますと、産地収入合計が、109億1,264万円となり対前年比で107%と増加しました。ほか組合員数(事業所数)157事業所(対前年比95%)、総従業員数1,218人(対前年比97%)で減少しています。コロナ禍の影響がまだ残っている団体もありますが、それよりも物価高騰による原材料費の高騰や人件費の上昇などを製品価格に転嫁できていない事が事業に大きく影響している状況です。

(技術支援係 五十嵐)